

## 地域の基幹病院として

新年度を迎えるに当たって、当院の現状と今後の展望についてご紹介申し上げます。当院は平成22年に災害拠点病院の指定を受け、東日本大震災においては救援チームを派遣しました。今年は災害派遣医療チーム(DMAT)の指定も受け、名実ともに大災害時の基幹病院となります。災害があっては大変ですが、不測の事態にも対処できるべく準備を行っています。

### ■愛知県がん診療拠点病院

平成24年度からは「愛知県がん診療拠点病院」となります。これまでもがんの治療体験者が相談相手となり、がん治療への不安を減する「ピアサポート」の実施や、西病棟7階に移設した「がん相談支援センター」へのがん性疼痛看護認定看護師の配置など、安心して治療が受けられる体制を提供してきました。新たに愛知県がん診療拠点病院に指定されることにより、近隣の実地医家（開業医）とさらなる密接な医療連携を推進していきたいと考えています。

### ■地域医療支援病院

もう一つの朗報として、今年中に尾張北部医療圏としては最初の「地域医療支援病院」に承認される予定です。名前を聞いても皆さんにはピンとこないかもしれませんが、この承認は、当院が入院治療や手術が必要となる急性期の患者さんの治療に特化し、安定期の医療については近隣の実地医家と連携するシステムが構築されている病院であるということへのお墨付けとして与えられるものです。

春日井市だけでも人口は30万人を超える状況で、当院の556床だけでは地域医療を守るのに十分な数とは言えない状況です。しかしながら、限りあるベッドを有効に利用して、本当に入院治療が必要な患者さんが出た場合には必ず入院できるという体制を作ってこそ、地域住民の方々が安心して日々の



院長 渡邊 有三

暮らしが過ごせるというものではないでしょうか。当院が急性期病院として生き残っていくためには、ベッドを有効利用するしかありません。この目的を遂行するには、入院治療が必要となると同時に退院目標を指示して、積極的に在宅医療を進めるか、回復期リハビリテーション病院などの後方病院への転院に協力していただくしか方法はありません。当院が目指している道は、国が示しているものに他なりません。担当医から皆様には様々なお願いをさせていただきますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

当院は皆様が安心して安全な医療を受けられる病院となるべく、全職員が一丸となって努力しています。災害拠点・がん診療拠点・地域医療支援などの勲章を頂戴することは、職員のプライドを高めるだけでなく、地域住民の安心にもつながり、結果として公営企業としての収益力向上にもつながると思っています。今後とも、皆さまからのご支援とご協力を切にお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

平成24年  
春号  
NO.17  
平成24年4月1日  
春日井市民病院

### 「愛知県がん診療拠点病院」とは

全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向けて、地域のがん診療の連携の拠点とがん医療水準の引き上げを行う病院として、国が指定する「がん診療連携拠点病院」に準ずる病院として愛知県が定めたものです。

＜がん診療拠点病院の役割＞

- 1 がん医療に関する専門的な知識及び技能を有する職員を配置し、高度ながん診療を提供します。
- 2 がん患者さんへの情報提供や相談・支援を行います。
- 3 地域の診療所、病院等との連携・診療支援を行います。

## News

### 最新鋭の血管撮影装置が導入されました

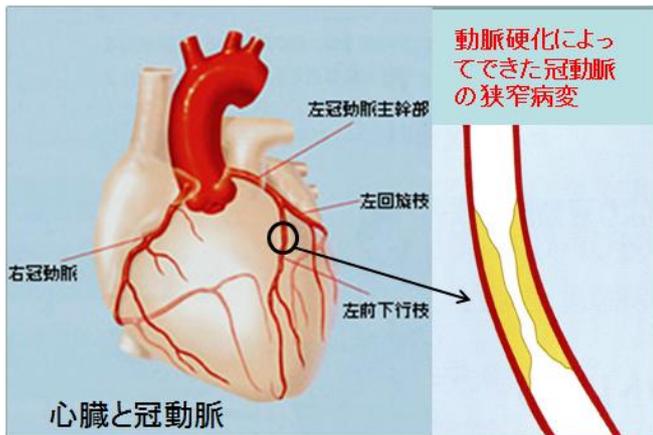
平成24年3月に最新型の血管撮影装置が導入されました。

くも膜下出血を引き起こす動脈瘤や血管の狭窄、出血などの治療は、患者さんの体の負担を少なくするため、血管の中から治療する方法が主流となってきています。この装置の導入により、低被ばくかつ短時間の治療が可能となりました。

また、4月からはCT装置と血管撮影装置が合体したIMR-CT装置も最新鋭なものに更新され、腫瘍の治療や診断をさらに高い精度で行うことができるようになります。



# 「狭心症」のはなし



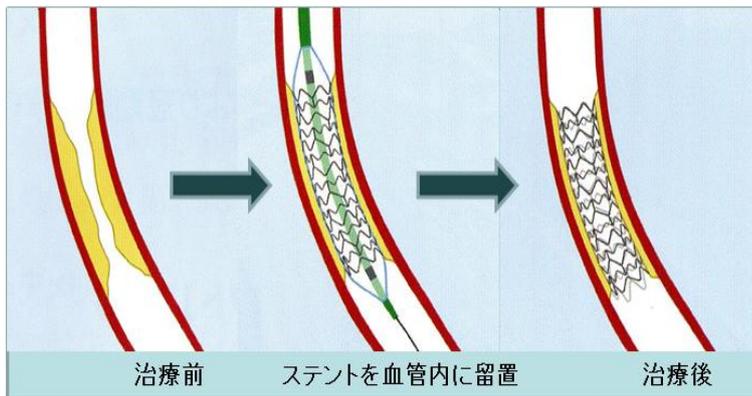
**狭心症**は、食生活の欧米化や、高齢化に伴い、患者が増加の一途をたどっています。また、心臓病は日本人の死因の第2位で、この心臓病の多くは狭心症を始めとした虚血性心疾患です。このように狭心症は日常最もよく遭遇する心臓病の一つです。また、最近、天皇陛下が手術を受けられたことで関心が高まっています。

## ■狭心症とはどんな病気ですか？

心臓は全身に血液を送るポンプの働きをしています。心臓はまた、心臓自身にも冠動脈を通して血液を送っています。冠動脈が動脈硬化により狭くなり、血流が障害され、胸部圧迫感の発作を起こす病気を狭心症といいます。また、冠動脈が動脈硬化で閉塞して、血流が途絶え心筋が壊死する病気を心筋梗塞といいます。

## ■どんな症状が出ますか？

胸が締め付けられるような苦しさや痛みが、階段を登ったり、散歩などで歩いたりといった労作で発作性に出るのが狭心症の症状です。通常は、安静にすると数分から10分ぐらいで症状は消失します。また、胸痛にはニトログリセリンの舌下錠が効くのも特徴です。症状が肩の痛みであったり、胃の辺りの痛みであったりすること、また、安静時に症状が出ることもあります。症状は通常それほど強いものでなく、また、15分ぐらいまでで治まってしまうため、時に放置され、病院にかからず発見が遅れることがありますので注意が必要です。



## ■どうやって診断するのですか？

心臓への血流障害の程度を運動負荷心電図などで評価します。また、冠動脈CTや、心臓カテーテル検査（腕、手首や足の付け根の動脈からカテーテルと呼ばれる管を入れて冠動脈を直接造影する検査）で冠動脈の狭くなっている部分を発見し、診断します。

## ■治療法は？

薬物療法、経皮的冠動脈形成術、冠動脈バイパス手術があります。薬物療法は、狭心症の発作を抑える薬物と狭心症の原因である冠動脈の動脈硬化の進行を抑える薬物があります。薬物療法は狭心症治療の基礎ですが、発作を完全に予防できず、冠動脈の狭くなった部分を治す作用はありません。経皮的冠動脈形成術（PCI）は、カテーテルを使って冠動脈の狭くなった部分を風船で冠動脈の内から広げたり、ステントという金属の網状の筒を冠動脈の内に留置し、冠動脈壁を裏打ちするように広げる方法です。PCIは、入院も2-3日で患者さんへの負担が少なく十分な効果が得られる長所があります。しかし、6か月から12か月で広げた部分が再度狭くなり、再び治療が必要になることがあります（再狭窄といいます）。冠動脈バイパス手術は、胸を開いて、自分の腕の動脈や足の静脈を使って、狭くなった冠動脈を超えて血流が心臓に送られるように迂回路を作る方法です（道路で使われるバイパスと同じことです）。大手術で患者さんの負担は大きいですが、成功すれば、その後の経過は良好です。

このように、治療法には一長一短がありますので、患者さんの状態に合わせて、最良の治療法を選びます。

## ■予防できますか？

狭心症を起こしやすい病気や体質があり、冠危険因子といいます。肥満、喫煙、高血圧、高脂血症（コレステロールが高い、中性脂肪が高いなど）、糖尿病などが冠危険因子です。冠危険因子を治療したり、コントロールすれば、狭心症の予防効果があります。

（循環器科 寺沢彰浩）

# 食中毒から身を守りましょう



「食中毒」と聞いて思い付くのは、梅雨時や夏場の食品の腐敗や冬のカキによる中毒でしょうか。しかし、「食中毒」は四季を問わず私たちのまわりで起こっています。食中毒には細菌性やウイルス性がありますが、今回は「細菌性食中毒」についてのお話です。

## ■感染型と毒素型

細菌性食中毒は、「食中毒」全体の約 60%を占めています。その細菌性食中毒には感染型と毒素型があります。感染型は、食べ物の表面や中で増殖した細菌自体が食中毒の症状を起こすもので、口から細菌を摂取することにより感染します。代表的な細菌にはサルモネラ、病原性大腸菌などがあります。

一方、毒素型は食べ物の表面や中で増殖した細菌が産生する毒素により症状を起こします。代表的な細菌には黄色ブドウ球菌、セレウス菌などがあります。

## ■症状

感染型の多くは感染して症状が現れるまで（潜伏期間）約 2～7 日です。主な症状は下痢、腹痛、発熱、頭痛、吐き気などで、2～5 日で回復します。

一方、毒素型の潜伏時間は細菌型に比べ短く、摂食後 30 分～6 時間で悪心や嘔吐等の症状が出現し、引き続いて下痢、腹

痛が起こります。ほとんどの場合 24 時間以内に回復します。

細菌型では発熱や頭痛もありますが、毒素型は吐気や嘔吐が主な症状です。

## ■もし食中毒をおこしたら、食中毒をおこさないために

家族や職場でほぼ同時期に下痢・嘔吐などの症状が見られた場合には「食中毒」の可能性があります。医療機関を受診する際には、何をいつごろ食べたか、下痢・嘔吐などの症状のほか発熱、頭痛などの症状を伝えると、原因菌の推定がしやすくなります。

細菌型食中毒は食べ物を介して食中毒が拡大します。食中毒を起こさないためにはできるだけ加熱調理された食事を摂ることも一つの方法です。毒素型はすでに毒素を産生した場合には加熱しても効果はありません。つまり細菌が付着しないようにすることと、調理後早く食べることが重要です。

## ＜細菌性食中毒の予防の基本＞

対策	方法
清潔 菌を付けない	ねずみ・ハエ・ゴキブリ等の侵入を防ぐ 調理器具や環境を清潔に保つ 新鮮な原材料を使用する 手指を清潔にする
迅速 増殖する時間を与えない	速やかに調理して早めに食べる
温度 菌をやっつける 菌が増殖しやすい温度にしない	十分な加熱（中心温度 75℃で 1 分以上） 5℃以下の冷蔵

## Information

### 糖尿食・腎臓食体験栄養教室のご案内

- 開催日** 糖尿食…平成24年4月10日（火）、5月8日（火）、6月12日（火）  
腎臓食…平成24年4月19日（木）、5月18日（木）、6月21日（木）、7月19日（木）  
※それぞれ1回で終了する体験教室です
- 時間** 正午から60分程度（午前11時50分から受付）
- 場所** 栄養指導室（病棟1階）
- 対象** 当院で糖尿病又は腎臓病の治療を受けている人
- 定員** 各回5人（先着順）※付添いは1人につき1人まで可（付添いの方のみの参加は不可）
- 費用** 500円（食事代1人分）＋保険診療自己負担分（80円～390円）
- 申込み** 診察時に医師にお申し出ください

問い合わせ先 栄養管理室

### 運動教室のご案内

- 通院若しくは入院患者さんの付添い、又は面会の方で待ち時間などを有効利用し、日頃の運動不足を解消しませんか？
  - 週1回、15～20分程度の簡単な内容で運動教室を開催しています。ぜひご参加ください。
  - 運動内容は、専門スタッフが指導いたします。
- 問い合わせ先 看護事務室

### 市民公開講座のご案内

- 当院では、身近な病気をテーマとして一般の方を対象とした講座を年4回開催しています。講師は当院の医師、看護師、薬剤師、検査技師などです。
  - 次回のご案内は、広報かすがい5月15日号に掲載するほか、病院ホームページなどでお知らせする予定です。
- 問い合わせ先 管理課

## 「なんでもご意見箱」から

皆様からいただいたご意見の一部を紹介します。

北駐車場から救急入口までの歩道が暗く感じます。特に高齢者の方には危険ではないでしょうか。

夜間来院者の安全確保のため、北駐車場南側の横断歩道付近に照明を増設しました。



貴重なご意見をありがとうございました。

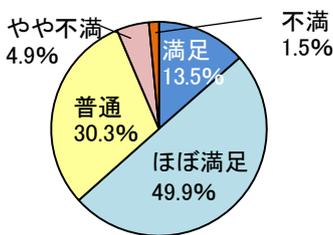
## 平成23年度 病院満足度調査結果

サービス向上委員会

より良い病院を目指すため、今年度も満足度調査を行いました。調査にご協力いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。このたび調査結果を報告させていただきますとともに、この結果を参考とし、さらなる医療サービスの向上に努めてまいります。

### 総合評価

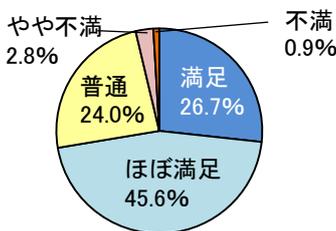
#### 【外来】



「満足」と「ほぼ満足」を合わせた評価（63.4%）は昨年度（60%）と比較して向上した一方、「不満」と「やや不満」を合わせた評価（6.4%）も昨年度（3%）より増加しました。

当院の良い点としては、昨年度同様、職員の対応が良い、施設がきれい等の点を挙げていただいたほか、診療状況の表示により待ち時間が分かりやすくなったとの評価をいただきました。一方、悪い点として、予約しているにもかかわらず待ち時間が長い等のご意見をいただきました。

#### 【病棟】



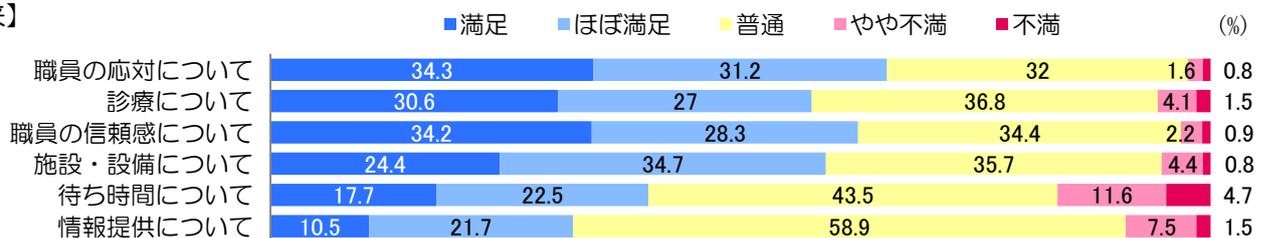
病棟では、医師・看護師が親切だった、信頼できた、相談しやすかったなど職員の対応に関する意見を多くいただきましたが、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた評価（72.3%）は、外来（63.4%）と比較して高いものの、昨年度（77%）と比較して減少しました。

職員間の連携不足を指摘される意見も少なからずいただいたため、今後はより一層連絡を密にし、安心して入院していただけるよう努力してまいります。



### その他の項目

#### 【外来】



#### 【病棟】

